

圏域名	但馬圏域
日 時	令和元年 7 月 25 日 (木) 13 : 30～15 : 30
場 所	豊岡市民会館
議 長	田中 洋 部会長 (豊岡市医師会長)
出席者	欠席：田中会員、富会員、浦辺会員、阪本会員、橋本会員、松田会員、 村瀬会員 代理人が出席：枚田部会員、砂治部会員、中尾部会員 以外は、別紙構成員名簿のとおり本人出席 ※但馬圏域医療機関等連絡会議と合同開催
議事次第 概 要	(議事) 1) 地域医療介護総合確保基金事業(医療分)について (1) 令和元年度 但馬地域提案事業結果について (2) 令和 2 年度 地域事業提案の募集について (3) 令和元年度 病床機能転換推進事業の募集について 2) 但馬圏域入退院支援運用ガイドラインの評価と見直しについて 3) 令和元年度 但馬圏域公立病院ワーキング会議について 4) 地域医療構想、保健医療計画の推進について (病床機能報告及び地域ケア病床の設置状況について)
内 容	〈議事〉 ◇議事 1) (1)について、配布資料に基づき但馬圏域からの提案事業審査結果について、医務課より説明。 ・昨年度提案のあった、令和元年度の地域医療介護総合確保基金事業(医療分)について、歯科衛生士の復職支援、スキルアップのための研修については、健康増進課で実施している「離職歯科衛生士復職支援事業」の中で対応していただきたい。 ◇議事 1) (2)について、配布資料に基づき令和 2 年度にかかる事業の募集について、医務課より説明。 ・同事業については、消費増税分を活用した基金。 ・対象事業としては、「地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業」、「居宅等における医療の提供に関する事業」、「介護施設等の設備に関する事業」、「医療従事者の確保に関する事業」、「介護従事者の確保に関する事業」。 ・各圏域において、基金を利用した地域の固有の課題解決のための事業を提案いただき、地域医療構想の達成、地域包括ケアシステムの構築を進めていただきたい。 ○令和 2 年度 地域医療介護総合確保基金にかかる事業提案について、豊岡市歯科医師会から資料に基づき説明 (構成員) ・今回の提案が、平成 30 年度に提案された内容と同じであるが、昨年度の審査結果が先ほど医務課から説明のあった内容であれば、医務課の

判断として今回の提案が圏域事業として通るのか。

(県医務課)

- ・今のまま事情が変わらない状況においては、同内容の提案では圏域事業として採用されるのは難しいのではないかと。
- ・圏域の課題に対応した必要な事業を提案していただきたい。

(構成員)

- ・但馬には、歯科衛生士・歯科技工士を養成する学校がない。ほとんどの人が京阪神地域の学校に行って、そのまま(京阪神地域)で就職しているのが現状。
- ・事業名に「復職支援にかかわる事業」と入っているのではぼやけてしまうが、主体としては、早い時期からの人材確保に重きを置いて、目標にしている。

(県医務課)

- ・行政の現場でも歯科衛生士を確保することは難しい。医療の現場であればなおさら(人材の確保が)難しいだろうなどは思っている。
- ・但馬でどうやったらこういった関係者を確保できるのかをアピールできる内容にしてはどうか。
- ・医師の確保でも、但馬出身の人がどうしたら但馬に戻ってきてくれるのかといった視点から考えているので、そういった視点から考えてみてはどうか。

(事務局)

- ・現在但馬で実際に働いている人が、歯科衛生士で129名、歯科技工士で48名。
- ・医療計画(圏域版)でも、今回の医師確保計画でも、何らかの数字的なものを示しているのか、今回の提案の中でもどのくらいの人数が不足しているのか。どのくらいの人数が離職中なのかなど、実際の数字的なものを示してみてもどうか。

◇議事1)(3)については、配布資料に基づき令和元年度の募集について、医務課より説明。

◇議事2)については、配布資料に基づき事務局より説明。

- ・ガイドラインの周知徹底ポイントとして、病院側には、病院からケアマネへの入院時連絡及び退院予定日の連絡を徹底。
- ・転院時には、転院先への入院時情報提供書の添付の徹底を依頼。
- ・ケアマネ側には、利用者には、入院時には医療保険証等の3点セットの持参の徹底。
- ・ケアマネが病院を訪問する機会が少なくなっているため、病院スタッフとの面談による情報交換をする機会を増やすよう依頼。
- ・かかりつけ医への退院予定日の連絡の徹底を依頼。
- ・病院の方も入院時に、退院に向けての支援を行う仕組みが整うようになったが、豊岡病院の救急からの情報は、救命救急の性質上なかなか入院支援のルールに乗りにくい。今後は、救急からの情報提供の仕組み作りが一つの課題。

	<p>◇議事 3) について、配布資料に基づき事務局より説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、県養成医の派遣人数は増えるが、キャリア形成プログラムの特定診療科育成コースを希望する医師も出てくる。従来の内科・総合診療科への派遣だけではないので、圏域全体で、派遣の方向付けについて、ワーキング会議でも議論を継続していく。 <p>◇議事 4) について、配布資料に基づき事務局より説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア病床は、昨年秋には、但馬全体で 185 床であったものが、今年の 6 月には日高医療センターが 12 床設置したことにより 201 床に増床した。 ・保健医療計画の作成に取り組んでから、各病院の努力で徐々に地域包括ケア病床が増え、回復期の病床を確保していただいた。 ・地域包括ケア病床は、在宅医療の支援にも繋がり、病院の活動の方向が出来つつある。
<p>協議が調った事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療介護総合確保基金事業(医療分)の令和 2 年度但馬地域提案事業については、但馬出身者の U ターンの視点、数字的な根拠を示した内容で修正のうえ提出する。 ・県養成医師の派遣について、圏域全体での派遣の方向づけについて、「但馬圏域公立病院ワーキング会議」でも継続議論していく。
<p>次回以降の予定</p>	<p>(未定)</p>